

『原三溪翁伝』第3篇第1章を読み進めました

4月の定例研究会では、『原三溪翁伝』の輪読と、総会を行いました。

◆輪読

発表者：別府 敏

範囲：pp.514～545

第3篇 性格と趣味

第1章 性格

第5節 聡明叡智

第6節 清廉潔白

第7節 福德円満

第8節 自重と自信



発表者からひとこと

未曾有の東日本大震災の翌日に予定されていた3月輪読会はやむなく延期。3月11日M9.0の激震を、横浜みなとみらい地区の高層ビル14階で恐怖の体験をした私は、交通機関麻痺のため10数キロの国道を3時間半余歩き帰宅しました。道中頭をよぎったのは関東大震災の折、強羅白雲洞から和服・下駄履きで洋服姿の野村洋三とともに箱根路を急ぎ下る三溪翁の姿でした。その後、被災地の状況、福島原発の諸問題、そして計画停電などなど激動のひと月が過ぎてこの輪読会を迎えました。今回は第一章性格の「聡明叡智」「清廉潔白」「福德円満」「自重と自信」の部分でしたが、引用部分がかかなり多く、発表内容をいろいろ欲張ったために、何れも中途半端な結果になってしまいました。反省することしきりです。（別府）



◆総会

平成22年度事業報告及び会計報告、平成23年度事業計画及び予算案が了承されました。そのほか、会場の確保、ホームページのリニューアル、輪読以外に行う遠足などの具体案、会報の発行などについて話し合いました。